

- 1 教育事業名 教員免許状更新講習
- 2 期 日 平成25年8月14日(水)～16日(金) 2泊3日
- 3 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 4 募集定員 50名
- 5 参加人数 50名(内訳 小学校20名・中学校9名・高校21名)内県外7名
- 6 講 師 與儀 毅(沖縄県生涯学習振興課生涯学習推進センター社会教育主事)  
講義「学校教育の現状と課題」  
平野 貴也(名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授)  
講義「体験活動の意義と学習指導要領」  
遠矢 英憲(名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授)  
講義「体験活動の安全確保と安全指導」  
講義・実習「体験活動とフィードバック」  
赤嶺 智郎(国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職)  
実習「レクリエーションの基本と実技」  
実習「マリン活動・炊事活動」

## 7 実施プログラム

1日目 8月14日(水)

- 11:40～12:00 開講式
- 13:00～15:00 講義「学校教育の現状と課題」
- 15:00～17:00 講義「体験活動の意義と学習指導要領」
- 17:40～19:00 夕食・入浴
- 19:00～21:00 実習「レクリエーションの基本と実技」

2日目 8月15日(木)

- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:40～8:00 朝食
- 9:00～11:00 講義「体験活動の安全確保と安全指導」
- 11:00～16:00 実習「マリン活動」大型カヌー・オープンカヤック・  
スーパーフロート・スノーケリング ※12:00～13:00 昼食
- 16:00～19:00 実習「野外炊事」火おこし・夕食(カレー)
- 19:00～19:30 セーフティトークについてのまとめ(班別)

3日目 9月16日(金)

- 7:00～7:20 朝のつどい
- 7:30～8:00 朝食
- 8:00～9:00 清掃・退所準備・荷物移動
- 9:00～9:30 セーフティトークの実践発表(班別)
- 9:30～11:30 講義・実習「体験活動とフィードバック」
- 11:30～12:00 事務連絡・履修認定試験について
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 履修認定試験
- 14:40～15:00 閉校式

## 8 事業の様子



実習：スノーケリング



実習：レクでの笑顔



実習：炊事で火おこし



履修認定試験

## 9 参加者の声

- ・体験活動の良さを自分自身で体験できたので良かった。
- ・体験活動は「させて終わり」ではなく、安全や目標、プロセスのふりかえり等が大切であることを再認識できた。
- ・堅苦しい印象の更新講習だが実にアットホームでプログラム講義内容が渡嘉敷島にとってもよくあっていた。
- ・2泊3日で大満足、おなかいっぱい。
- ・現場の教員にとって理論についての理解を深めるだけでなく、実際に行動できるかという点が大切だと思う。今回のように指導法を理論的に学び、実際に経験、また、指導場面を想定する研修は有意義だと思う。
- ・レクは苦手な方でしたが赤嶺先生のレクチャーを受けて大分見方が変わりました。
- ・他の人にも教えてあげたい。関わり合える喜びを感じることに慣れきった現場では経験できない新鮮なものだった。

## 10 担当者所見

本事業は自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図ることを目的に実施した。

参加者定員を昨年の約2倍の50人としたが、締め切り後も申し込みが数件あったが運営上の問題で申し込みをお断りした。

今回の参加者は全体的に大変積極的でお互いにすぐうち解けていたように感じた。プログラムの工夫としては講義と実習が結びついていくような流れにすることで理論と実践が身に付くように配慮した。

参加者からは概ね満足したとの評価は頂けたが、講義の内容や実習と講義の時間配分など課題の指摘もあった。次年度に向けた改善が必要である。

今後は参加者が各学校において積極的に体験活動を実践し、この研修の成果が子ども達へ還元されることを期待する。